



たかずやの里通信

令和元年度 -第3号-

・・・発行日・・・
令和2年 1月1日
・・・発行人・・・
児童養護施設 たかずやの里
伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607

第23回 たかずやふれあいまつり たくさんのご来場 ありがとうございます

たかずやふれあいまつりに、大変多くの皆様のご来場をいただいたこと、また、多くのボランティアの皆様のご協力がありましたことに感謝申し上げます。

子どもたちが自立し社会の中で生きていくためには、地域の中で得られる経験はとても大切です。一人でも多くの皆様が児童養護施設のことを知り、関わりを持っていただくことが、たかずやの里の子どもたちにとって、人との関わりの大切さを知る機会となります。それが、やがて子どもたちの成長や自立に繋がっていくものと思います。

今後ともよろしく願い申し上げます。

たかずやの里 施設長
菅 雄峰

10月20日(日)第23回たかずやふれあいまつりが行われました。当日は晴天にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきありがとうございました。今回のテーマは『挑戦～輝け☆未来に向かって～』で、子どもたち一人ひとりが輝いている姿をステージ発表、展示等で披露致しました。

ふれあいまつりを行うにあたっては、前日からの準備を含め30名のボランティアスタッフの皆様にご協力をいただきました。また、当日はおよそ200名の地域の皆様にもご来場いただき、盛況に開催することができました。このイベントは、日頃お世話になっているボランティアや地域の皆様への感謝の気持ちを伝える場でもあり、皆様との交流の大切な場となっています。

来年も皆様にも楽しんでいただけるよう準備してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

たかずやふれあいまつり実行委員
小松 真一

ほっしー☆のバントマイム



あそびの広場



手押し相撲大会



太鼓クラブによるオープニング

体験報告&ボランティア紹介

プロレスラー 青柳選手との触れ合い

9月1日に全日本プロレスの青柳優馬選手がたかずやの里に来訪されました。夏にもご招待いただき機会があり、全日本プロレスを観戦させていただきました。

子どもたちは興味津々で青柳選手に持ち上げてもらったり、肩車をしてもらったりしていました。

「僕もやって!」と次々に駆け寄る子どもに笑顔で応対してくださる青柳選手の優しさに触れました。

最後はサインもいただき、お忙しいなか足を運んでいただきありがとうございました。



↑青柳選手に持ち上げてもらう子どもたち

たかずやの里 太鼓クラブの紹介

今年の秋もたくさんのお祭りに呼んでいただきました。子ども達も部活動やクラブ活動があり、人が少なかったり、忙しいなかでも一生懸命に取り組むことができたと思います。田楽座さんに指導していただいたポイントを意識して、練習と本番に臨んできました。出演後、「来年もよろしくお祈りします」と言われると、やりがいを感じられます。大変な面もありますが、地域の皆様にも喜んでいただけて地域とのつながりも感じられるので、頑張っ



↑たかずやふれあいまつりでの太鼓演奏

たかずやの里 お米ができました

たかずやの里でのお米作りが本年度も無事に終わりました。5月に田植え、夏は草刈り、9月に稲刈り、10月に脱穀、11月には精米をして新米を味わう会も行いました。

今年は作業日に雨が降ることなく天候に恵まれることが多かったので、子どもたちと一緒に作業することができました。

子どもたちも一生懸命手伝ってくれたからこそ一口食べて「美味しい!」と、新米ならではの美味しさをより感じていたように思います。



↑9月に行われた稲刈りの様子

ボランティア紹介 ありがとうございました

たかずやふれあいまつりの日、模擬店では伊那市主任児童委員・東春近地区民生児童委員の皆様が子どもたちと一緒に焼きそば・綿あめづくりなどを、駐車場では東春近子ども会育成会の皆様が来場者の車の誘導を、遊びの広場では読み聞かせの会の皆様が子どもたちに絵本を読んでいただいています。

今年もボランティアの方々のおかげで楽しいふれあいまつりできました。本当にありがとうございました。



↑たかずやふれあいまつりの様子

ユニット紹介 - マーガレットユニット -

たかずやの里には5つのユニットがあり、一つのユニットに最大8人の子どもが生活しています。マーガレットは、小・中・高校生8人の女の子が生活しているユニットです。個性豊かなメンバーで喧嘩もしますが、誕生会の時にはみんなでゲームを楽しむことにしています。

この頃のお気に入り「ウィンクキラー」。輪になって座り、鬼(キラー)が周囲にバレないように隙を見て一人ずつウィンクをして倒すゲームです。ウィンクされてしまった子が「やられたあ〜」とへなへなと倒れ込む姿がとてもかわいいです。いつも、このゲームのようにお互いを見つめ合いながら、相手の気持ちが考えられるようにしていきたいものです。



↑誕生日の様子